

作成日：令和4年10月31日

令和4年度 第一回 当事者団体・家族会連絡会のご報告をいたします。

日付	令和4年10月13日(木)
時間	14:00~15:30
開催会場	(対面) 高松市社会福祉協議会福祉コミュニティセンター高松東2FとZoomのハイブリッド式
参加機関等	香川県難聴児(者)親の会、ウィンドヒル、むつみ会、香川LD周辺児(者)親の会、災害弱者安心ネットワーク高松、香川の子どもたちの支援を考える会、高松市知的障害児者ネットワークみんなの広場、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、ライブサポートセンター、高松市障がい者基幹相談支援センター 順不同

議題1：連絡会の活動報告

議事	うどんコミュニケーションボード作成し、120店舗に配布。 災害バンダナを作成し特別支援学校に配布する。避難訓練で使用して頂いた。 ○意見 バンダナについて初めて知った。購入したい。避難所に設置して欲しい。 自作も検討したい。
----	--

議題2：防災に対する意見交換

議事	○自己紹介と参加された意図や課題に感じることを話す。 福祉避難所の周知が不十分である。避難所で薬の調達をどうするか？災害用アプリも普及させていきたい。避難したが避難所で周りから障がいを理解されず自家用車で過ごした。日頃からどんな対策をしたら良いか学びたい。目に見えない障がいに対する配慮をどれくらい得られるのか？ 施設で発電機や3日間の物資の備蓄を行っている。 災害弱者ネットワークでは700人を対象にアンケートを実施した。 災害地に見学に行き、利用者と防災袋を準備する練習を行った。 ○意見 現実的に避難所に行って、こういった配慮が得られるか？ →日頃から近所の方と良好な関係を築いておく。 →電話やネットを活用して仲間作りをする。 →マイナンバーカードに障がい者手帳が入るので避難所で伝えられる。 →担当の相談支援専門員に情報を調べてもらい計画を立てる。 →避難所に避難するのか？自宅避難するのか？を決めておく。
----	---

	<p>→要援護者名簿について 地域によってバラつきがあり、地域に自己開示することになる。行政（健康福祉総務課）に相談しておく。 要支援者登録については2名探すのが大変な場合には必ず必要ではない。</p> <p>周りに迷惑かけるから避難所に避難出来ない方はどうしたら良いか？ →自家用車避難になる。 →福祉避難所の運用を行政に訴えていく。高松市はまだだが、ガイドラインが変わっている自治体もある。 →親としては、逆に迷惑を掛けても良いんだという気持ちも必要。 →避難方法も複数ある事を知る、調べておく。 →利用者と自分を好きになれる方法として「ウェルビーイング」について話し合っている。 →福祉計画を立てておく。 →まずは自助をしっかり考えておく。</p>
--	---